

年

組 名前

**教材1-C-(1) 加法と減法の混じった計算**③ 『 $7 - 1 - (-6)$ 』の解決のために

- すべて ( ) を使って計算する求め方  
 $( ) + ( ) + ( )$
- すべて ( ) を使わないで計算する求め方  $7 - 1 + 6$   
 から計算していく。
- $7 - 1 - (-6) = ( + 7 ) + ( - 1 ) + ( + 6 )$   
 $= ( )$   
 $=$
- $7 - 1 - (-6) = 7 - 1 + 6$   
 $= 7 + 6 - 1$   
 $=$

**たしかめよう**

・次の計算をなさい。

(1)  $4 - 6 + 7 =$

(2)  $-8 - (-3) + 6 =$

(3)  $11 - 23 - (-32) + (-19) =$

(4)  $-\frac{1}{3} + (-\frac{1}{2}) - \frac{1}{4} =$

年

組 名前

**教材1-C-(2) 加法と減法の混じった計算**① 『 $1-8-(-5)$ 』の解決のために

○ すべて (      ) を使って計算する求め方 (      ) + (      ) + (      )

○ すべて (      ) を使わないで計算する求め方  $1-8+5$   
から計算していく。

○  $1-8-(-5) = ( +1 ) + ( -8 ) + ( +5 )$   
=  
=  
=

○  $1-8-(-5) = 1-8+5$   
 $= 1+5-8$   
=

**たしかめよう**

次の計算をしなさい。

①  $9-4-(-5) =$

②  $3-8-(-7) =$

③  $12-18-(-21)-13 =$

④  $10+(-15)-(-13)-23 =$

年

組 名前

**教材1-C-(3) 加法と減法の混じった計算**② 『 $3 - 9 - (-1)$ 』の解決のために

○減法を加法に直してから計算しましょう

$$3 - 9 - \underline{(-1)} = 3 - 9 + (\quad)$$

その上で、

(1) すべて ( ) を使って計算する場合

$$= (+3) + (-9) + (\quad)$$

$$= \quad$$

(2) すべて ( ) を使わないで計算する場合

$$= 3 - 9 + 1$$

$$= 3 + 1 - 9$$

$$= \quad$$

**たしかめよう**

・次の計算をしなさい。

(1)  $8 - 1 + 3 =$

=

=

(2)  $\frac{5}{3} - \left(-\frac{1}{2}\right) - \frac{1}{3} =$

=

=

3つの分数の分母  
の最小公倍数で通  
分するといいね!

年

組 名前

**教材1-C-(4)****加法と減法の混じった計算**② 『 $(+3) - (-5) + (-6)$ 』の解決のために

○ 加法だけの式になおして計算する方法

$$(+3) - (-5) + (-6) = (+3) + (+5) + (-6)$$

$$= (+8) + (-6)$$

$$= \boxed{\phantom{00}}$$

正の項の和、  
負の項の和  
をまとめる

←

○ カッコをはずして計算する方法

$$(+3) - (-5) + (-6) = 3 + 5 - 6$$

$$= \boxed{\phantom{00}}$$

$$= \boxed{\phantom{00}}$$

**たしかめよう**

問 次の計算をしなさい。

①  $(+9) + (-8) - (-7) =$

②  $(-7) - (+5) + (-6) =$

③  $(-5) - (-8) + (+5) =$